

令和7年
2月1日

No.260

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第75代 副議長
おつか けん し
大 塚 健 児



第71代 議長
しげ つか し
渋谷 剛 士

議長・副議長 就任のご挨拶

市民の皆さまには、平素より市議会に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。私たち両名は、令和6年12月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。さて松戸市におきましては、令和6年6月に人口50万人に到達し、魅力ある都市へ発展を遂げております。50万市民の負託を受けた44名の市議会議員として松戸市の基本的な政策決定、市長その他の執行機関の事務執行の監視と評価、政策提言を行い、市政が適切な方向へ進むよう見極めながら、議会内の合意形成を図る調整役として、その職責を全ういたします。

また議会の仕事や役割等、分かりやすく開かれた議会を目指すためにもこの議会だよりなどを充実させ、市民が身近に感じられる親しみのある市議会を目指してまいります。

これからの皆さまの声を真摯に受け止め、議会としての役割と責任を果たしてまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

いつでも！
どこでも！
気軽に！

シェアサイクル

電動アシスト付き

ご利用方法

- ① アプリ登録
- ② 車両予約
- ③ 車両を借りる
- ④ 目的地付近に返却する

シェアサイクルとは、専用のサイクルステーションが設置されている場所であれば、いつでも、どこでも利用・返却が可能な自転車のシェアサービス（有料）です。

通勤・通学・買い物などそれぞれの用途で自由に利用ができます。市内外の移動にぜひご利用ください。

●問い合わせ先 交通政策課
TEL 047(366)7439

松戸市役所本庁舎

松戸市立総合医療センター

※ご利用方法の挿絵はOpenStreet株式会社より提供

ステーション設置場所

アプリ登録はこちら

市議会トピックス

●令和6年度松戸市一般会計補正予算（第6回）を可決

補正額 3億454万7千円

※詳細は3面に掲載しています。

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における2025年度教育予算拡充に関する意見書

松戸市議会の情報を
ホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



松戸市議会



議会中継



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

12月定例会

令和6年12月定例会を11月29日から12月17日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された専決処分1件の報告を承認し、人権擁護委員候補者の推薦議案2件に同意しました。このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案14件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された監査委員の選任議案1件、議員提出議案9件を上程し、採決しました。

また議長および副議長選挙、各委員会委員の選任、各委員長および副委員長の互選、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出を行いました。

（2面に審議結果、3面に委員会の質疑を掲載）

なお36人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

12 月 定 例 会 審 議 結 果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案 賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	市民クラブ										公明党								まつどみらい				日本共産党				政策実現 フォーラム・市民		立憲民主党													
				末松裕人	石井 勇	広瀬 優斗	大和山太郎	西田 善昭	中村 典子	大塚 健児	大谷 茂範	鈴木 大介	渋谷 剛士	箕輪 信矢	杉山 由祥	市川 恵一	深山 能一	飯箸 公明	高橋 伸之	芦田 満春	丹 呉 顕子	井 出 昌子	鈴木 智明	岩瀬 麻理	松尾 尚	伊東 英一	織原 正幸	大橋 博	石塚 裕	柿沼 光利	田中 睦生	岡本 優子	宇津野 史行	ミール 計恵	嶋村 新一						山口 正子	原 裕二	D E L I	増田 薫	工藤 鈴子
第44号	指定管理者の指定	教育環境	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
第47号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
第48号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×

○：賛成 ×：反対 －：採決時に議場にいなかった者 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。

■全会一致の市長提出議案

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果
第34号	専決処分の報告及び承認（令和6年度松戸市一般会計補正予算（第5回））	－	承認	第42号	市道路線の廃止及び認定	建設経済	可決
第35号	令和6年度松戸市一般会計補正予算（第6回）	総務財務	可決	第43号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同約の変更に関する協議	総務財務	同意
第36号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第45号	人権擁護委員候補者の推薦（山口勤氏）	－	同意
第37号	松戸市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	第46号	人権擁護委員候補者の推薦（横田周子氏）	－	同意
第38号	松戸市中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	第49号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第39号	契約の締結	建設経済	同意	第50号	松戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第40号	契約の変更	教育環境	同意	第51号	監査委員の選任（松尾尚）	－	同意
第41号	財産の取得	教育環境	同意				

■議員提出議案

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第15号	政党助成法に基づく政党交付金の廃止を求める意見書	－	否決	多数意見	第20号	最低賃金を引き上げるために中小企業への支援強化を求める意見書	－	否決	多数意見
第16号	「国際プラスチック条約」締結に向けて積極的姿勢を求める意見書	－	否決	多数意見	第21号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	－	可決	全会一致
第17号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書	－	否決	多数意見	第22号	国における2025年度教育予算拡充に関する意見書	－	可決	全会一致
第18号	企業・団体献金の全面禁止を求める意見書	－	否決	多数意見	第23号	松戸市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定	－	可決	多数意見
第19号	核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書	－	否決	多数意見					

委員会の新しい構成が決まりました

令和6年12月17日現在

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会	庁舎整備に関する特別委員会
◎ 伊 東 英 一 ○ 大和山 太郎 田 中 睦 生 芦 田 満 春 D E L I 鈴 木 智 明 大 谷 茂 範 宇津野 史 行 二階堂 剛 箕 輪 信 矢 市 川 恵 一	◎ 岩 瀬 麻 理 ○ 中 村 典 子 嶋 原 舞 柿 沼 光 利 増 田 薫 鴈 野 聡 松 尾 尚 大 塚 健 児 山 口 正 子 高 橋 伸 之 石 井 勇	◎ 大 橋 博 ○ 広 瀬 優 斗 嶋 村 新 一 湯 浅 文 石 塚 裕 井 出 昌 子 関 根 ジロー 渋谷 剛 士 工 藤 鈴 子 織 原 正 幸 末 松 裕 人	◎ 鈴 木 大 介 ○ 飯 箸 公 明 丹 呉 顕 子 西 田 善 昭 ミール 計 恵 戸 張 友 子 岡 本 優 子 山 中 啓 之 原 裕 二 杉 山 由 祥 深 山 能 一	◎ 石 井 勇 ○ 織 原 正 幸 大和山 太郎 ミール 計 恵 岩 瀬 麻 理 原 裕 二 大 橋 博 二階堂 剛 飯 箸 公 明 箕 輪 信 矢 末 松 裕 人	◎ 末 松 裕 人 ○ 飯 箸 公 明 西 田 善 昭※ ミール 計 恵 岡 本 優 子 鈴 木 智 明 原 裕 二 高 橋 伸 之 二階堂 剛 市 川 恵 一 深 山 能 一

◎委員長 ○副委員長 （常任委員と議会運営委員の任期は、委員会条例により2年となっております。なお庁舎整備に関する特別委員会については、構成の変更があった特別委員 変更がありました。）

委員会の審査から

12月10日・11日・12日・13日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここではその審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

※なお11月29日・12月6日に開催した庁舎整備に関する特別委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務 常任委員会

議案第35号 令和6年度松戸市一般会計補正予算（第6回）

問 放課後児童クラブおよび放課後KIDSルームにおける空調機整備を補正予算として計上した理由は。

答 令和6年の異常な猛暑を受け、児童の健康被害の防止を第一に考えて、7年夏までに現時点での放課後児童クラブおよび放課後KIDSルームの空調機整備を目指すべく、今回の補正予算で要求を行った。

健康福祉 常任委員会

議案第37号 松戸市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 本市における地域包括支援センターの人員配置の現状を伺う。

答 現在の介護人員配置基準については、介護保険法施行規則において、一つのセンターが担当する地域の高齢者人口が、おおむね3000人から6000人未満ごとに、常勤専従の保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を各1人配置することとされている。業

改正する条例の制定について

問 会計年度任用職員のうち期末・勤勉手当支給対象者はどのくらいであるか。

答 会計年度任用職員の期末・勤勉手当の支給要件は3点あり、1点目は12月1日基準日に在職していること。2点目は1週間当たりの勤務時間が15・5時間以上であること。3点目は当該年度内の任期の定めが6カ月以上であること。以上の全てを満たす職員であることが要件となる。令和6年12月1日時点における市長部局の会計年度任用職員の人数は1093人であり、支給対象者は845人で約77・3％となっている。

教育環境 常任委員会

議案第40号 契約の変更に

ついて
問 特殊基礎工事等の設計変更について、当初の契約書にはどのように盛り込まれていたか伺う。

答 建設工事は施工現場の形状や地質の状況、関係工事との調整の必要性等、さまざまな条件の中で施工するため、当初想定した設計内容や工期について変更が余儀なくされる場合がある。そのため当初契約書の中でも、設計変更、工期の延長や短縮等についての規定が盛り込まれている。

指定について
問 指定管理者候補者審査評価表について、最低基準の決め方について伺う。
答 全庁的な運用は、満点の半分以上を満たす6割を基準とし、審査委員会においては、最低基準点を設定することが審議事項となっている。第1回審査会では、前回と同様の事業者であれば、最低基準点を6割から7割に引き上げてはどうか、事業者からの提案のみ審査するのではなく、過去3年間の管理運営した中の課題や、評価委員会での委員からの意見等を考慮し判断してはどうかとの意見をいただき、審議の結果6割とした。

建設経済 常任委員会

議案第39号 契約の締結について

問 小山こ線人道橋補修工事について、期間が長く、施工費が高額な理由は。

答 主な理由としては、鉄道敷内で行う補修工事は終電後に線路を閉鎖し、電気を完全に停止してから作業を開始するため、線路を開放する始発までの時間は約3時間程度しかなく、施工時間がかなり制限される。そのため工事の期間や経費も増え、また軌道の保安に関する経費も非常に大きいことから施工費も高額となる。さらに当該橋りょうは、

指定について

問 指定管理者候補者審査評価表について、最低基準の決め方について伺う。

答 全庁的な運用は、満点の半分以上を満たす6割を基準とし、審査委員会においては、最低基準点を設定することが審議事項となっている。第1回審査会では、前回と同様の事業者であれば、最低基準点を6割から7割に引き上げてはどうか、事業者からの提案のみ審査するのではなく、過去3年間の管理運営した中の課題や、評価委員会での委員からの意見等を考慮し判断してはどうかとの意見をいただき、審議の結果6割とした。

小山電車庫に接続する軌道上に位置し、終電後に多くの車両が通過することから、他の軌道上に架かる橋より、さらに作業時間が著しく制限され、施工費が高額となる要因となっている。

問 橋りょう補修における優先順位について、公平性や透明性はあるのか伺う。

答 優先順位については、松戸市橋りょう長寿命化修繕計画における橋の健全性が4段階中3であること。その他としては、緊急時輸送路等の重要路線であることや利用状況等を考慮し決定している。周知については、ホームページで毎回5年ごとの修繕計画を掲載している状況である。

一般質問

12月定例会では、12月2日・3日・4日・5日・6日の5日間にわたり、36人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

健康寿命・平均余命の周知について

市民クラブ

西田 善昭

問 定年後も意欲的で充実した人生を送るため、新たに築く人生設計の基となる情報として健康寿命や平均余命のデータを広く周知する考えはあるか伺う。
答 市の健康増進計画「健康松戸21Ⅲ」では、健康寿命延伸

を基本目標としている。令和7年度開始予定の「健康松戸21Ⅳ」でも、引き続き基本的な目標に位置付けたいと考えている。今後の周知については、市民が健康づくりを意識し生活を見直すきっかけとなることが重要である。そのため生活習慣や地域での健康づくりに関する取り組みとともに、健康寿命や平均余命についても幅広く周知を進め、誰もが健康で心豊かに暮らせるまちの実現につなげたい。

松戸市マイ・タイムライン（地震版）について

公明党

鈴木 智明

問 地震から命を守るマイ・タイムラインを作成し、市民へ普及啓発する中で、地域防災力の向上を図ることが重要であると考えが見解を伺う。

答 地域の防災力の向上のため、さまざまなハザードマップ

を作成し、町会・自治会等での防災訓練やパートナー講座で日頃からの備えの重要性を啓発している。地震は突発的に発生し、季節・時間帯・場所等、さまざまな状況が予想されるため、災害時に困らないよう事前の避難行動の確認、見直しが重要である。今後も引き続きパートナー講座等で日頃の備えを啓発し、マイ・タイムライン（地震版）についても他自治体の事例を参考に早急に作成していきたい。

生活支援体制整備事業
について

市民クラブ

鈴木 大介

問 高齢者支援連絡会を通じて生活支援体制整備の現状と今後の展開について考えを伺う。

答 高齢者支援連絡会は、高齢者の安全・安心な生活支援を目的に、見守り等の活動を実施している。また地域レベルの課

題を抽出し解決する地域包括ケア推進会議等、高齢者の生活支援等の地域活動を担っている。本市は高齢者支援連絡会の事務局を、社会福祉法人等に委託し活動支援を行っているが、高齢化率の上昇等が見込まれる中、

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと生活し続けられるよう、見守り等の活動を広げていくことが必要と考える。活動しやすい実施体制を地域の関係者の意見を伺い検討を進めていく。

安全で安心なまちづくり
について

公明党

井出 昌子

問 犯罪抑止のため、街頭防犯カメラや市民参加型防犯カメラの設置拡大、またカメラ付き防犯灯の設置など市民を守る対策ができないか市の考えを伺う。

答 強盗対策の一環として防犯カメラの設置は非常に有効で

あり、市民参加型街頭防犯ネットワークカメラについては、令和6年8月にサーバーを増設し、条件により参加できなかった希望者も参加できる環境を整えた。市設置型カメラについては、6年度も増設し市民参加型カメラと合わせると現時点で582台となり、千葉県内最大の設置台数となっている。今後も防犯カメラの設置を積極的に進めるとともに、他自治体を参考にさまざまな手法を調査研究していく。

新拠点ゾーン整備について

日本共産党

ミール 計恵

問 新拠点ゾーンの計画地にある松戸中央公園は、松戸駅周辺の貴重な広い公園として多くの市民に親しまれている。公園内テニスコートは利用者も多く、市民がスポーツを親しむ場として貴重な施設である。需要の高

いテニスコートを廃止ではなく、位置をずらすなどして存続させるべきと思うが見解を伺う。

答 松戸中央公園内にあるテニスコートは、今後、土地区画整理事業の保留地として造成工事を行う必要があることから、撤去する予定である。このことから今後のテニスコートの在り方については、松戸中央公園等の整備に合わせ、公園管理者や施設管理者等の関係部署と協議の上、検討したいと考えている。

本市のPRについて

市民クラブ

広瀬 優斗

問 鳥取県倉吉市では、ふるさと納税を活用し、大相撲九州場所で開催された琴櫻関への懸賞旗掲出が行われた。本市でも同様の取り組みをする等、市の柔軟なPRを推進できないか伺う。

答 大相撲九州場所では、松

戸生まれ松戸育ちの大関琴櫻関が初優勝を果たし、多くの勇気と感動を頂いた。倉吉市のふるさと納税を活用した大相撲での懸賞旗は、ふるさと納税のPRに加え、ゆかりがある力士を応援できるという新しい手法と聞き及んでいる。これにかかわらず、琴櫻関をさまざまな形で応援できないか検討し、今後もこういった機運を捉えた市のPRを推進していく。



松戸駅東西口の公衆便所
(公衆トイレ)の設置について

まっどみらい

岡本 優子

問 年間にかかる維持管理費の見込みは、また賃料について減額交渉の余地はあるか伺う。

答 年間の維持管理費は清掃委託費、機器点検委託費、電気代、上下水道代、修繕費を合わせ概算で1千万円程度を見込んで

ている。賃料に関しては、松戸駅バリアフリー施設整備を発端としたJR東日本のプロジェクトの中で、駅舎内の構外に24時間使用できる身体障害者対応トイレ設置の要望を本市から受け、テナント等を入れないよう場所の確保に努めていただいた経緯もあり、相応の金額になると思うが、本市としては下水道占有料を含めた賃料の積算の段階から減額交渉を行い、将来的なコスト削減につなげていきたい。

読み書きが困難な児童生徒
について

無所属

湯浅 文

問 ①人数・困難症状種別・対応状況等を市教育委員会として把握する考えはあるか②支援にあたりICTが効果的だが、ICT支援員の支援への参加を促すことは可能か伺う。

答 ①人数把握の調査は、担

任の見立てにならざるを得ないため、就学相談等の機会に実態やニーズの把握に努めている。市教育委員会では市立小学校に「MIM」の活用を促進し、学びの基盤となる読みのつまずきに着目し、低学年段階でのアセスメントにより、後の円滑な学びにつなげる手段を講じている②ICT機器やコンテンツの活用については、各学校に配置するICT支援員と連携を図り、支援の充実につなげていく。

アリーナ建設について

まっどみらい

田中 睦生

問 本市において、複合型施設のアリーナ建設ができないかまた早期実現に向け、財政面、用地確保も含めて、どのような懸念や課題があるか伺う。

答 複合型施設のアリーナは、スポーツだけでなく、多目的利

用ができる施設としてさまざまな地域で整備されている。アリーナ整備は数万㎡の用地確保に加えて、施設の事業継続性と周辺地域への外部効果が重要とされる。近年の複合型アリーナ施設は民間企業が企画・整備し、イベント利用による収益性や事業継続性の確保とともに周辺地域への外部効果を目指すものと認識している。今後も情報収集等、研究を図っていく。



行政の透明性確保と
評価制度の再導入について

無所属

山中 啓之

問 市では現在、事務事業評価や行政事業レビューが実施されておらず、税金の使途等が理解できない状況である。行政の透明性と効率性確保のため、制度の再導入の方針について伺う。

答 行政の透明性は市民の信

頼を高め、健全な運営に欠かすことのできないものであり、行政評価制度の運用も重要と考える。しかし評価作業が自己目的化し、政策の企画立案や見直し等で十分生かされない課題があり取りやめた。本市は新たな政策評価の考え方を導入し、進捗状況を明らかにすることで、政策改善を図っている。一方、広い視野で政策評価を捉える必要もあり、今後も本市に適した政策評価について研究を深めたい。

高齢者の聞こえの支援
について

公明党

丹呉 顕子

問 令和6年3月に難聴高齢者の早期発見等に向けた適切な実施体制の構築が国により示された。本市でも対応策として、加齢性難聴の早期発見、医療機関への早期相談が可能と考えるが市の考えを伺う。

答 聞こえの不調は日常生活に影響を及ぼすため、早期発見と早期受診は重要と認識している。早期受診は耳の病気の発見や補聴器等の早期活用で聞こえが改善し、生活の質を維持することと認知症予防にもつながる。国等から示されたことを契機に、市でも加齢性難聴の普及啓発や早期発見・早期受診への体制整備を進め、補聴器助成についても一体的な対策として検討している。



メタバースの活用状況について

まつどみらい

石塚 裕

問 メタバースの実証実験の状況および今後の活用をどのように考えているか見解を伺う。

答 本年度は実証実験を実施し、庁内10部局から15件の活用したい旨の要望があった。今後、各所属と協議の上、各要望の具

体化と精査を行い、市独自の機能となる複数の行政サービスを松戸市の地形を模した一つの基盤上で提供する「メタバース市役所」の効果的な活用方法を検討する。本取り組みは各部局が協力し、事業や業務を超えて一つの基盤を活用することで、市民への行政情報の分かりやすい案内等の提供が可能となる。さらに市民同士がつながる接点にもなる取り組みであり、迅速・丁寧なシステム導入を進めたい。

松戸市病院事業の経営について

無所属

鴈野 聡

問 令和6年9月定例会における補正予算の可決により、市立東松戸病院を売却および除却した場合の資産の合計約62億円がどのようになったのか伺う。

答 土地約45億円、建物・構築物約16億円、その他器械備品

等約1億円の計約62億円から、補正予算議決後に売却した旧市立福祉医療センター南側分割地の資産額を差し引いた残余が、7年度に売却予定の北側分割地の資産額となる。南側分割地の土地は約29億円であり45億円から差し引くと16億円、南側分割地の建物・構築物は約6億円で16億円から差し引くと10億円、器械備品は除却しており、資産額は0円となる。従って北側分割地の資産額は約26億円となる。

自治体SDGs推進について

まつどみらい

柿沼 光利

問 SDGs 未来都市に選定されている本市も、使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクルについて、目標達成に向け機運を高めるきっかけとし検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 使い捨てコンタクトレン

ズ空ケースのリサイクルについては、複数のコンタクトレンズ製造メーカーが、販売店での回収の他、千葉大学をはじめ学校、商業施設や公共施設等に回収ボックスを設置し、無償回収等を行っていることは認識している。市では現在、その他のプラスチックなどのごみとして収集しているが、ごみ減量につながることから、市でも無償回収等が適用されるかも含めて、今後前向きに調査研究していく。

自動運転車両の今後について

公明党

伊東 英一

問 自動運転車両での実証調査の目的、得られた効果、市民等の反応と今後の展望を伺う。

答 実証調査は車両等の性能を知り、今後本市の移動手段の一つとしての実用性等の検証とともに、地域公共交通計画への

反映を検討するため実施した。効果としては路上駐車の高さ等、交通ルールの問題の他、将来自動運転が標準的に走行する社会に対応した環境整備の重要性を再認識できた。乗車した方の反応はおおむね良好で、早期の実用化を期待する等前向きな意見の一方で、スピードが遅い等の多様な意見があった。今回の実証調査を分析し、導入方策を固定せず、実用性や実現可能性等を継続的に検証していきたい。

松戸市のDXについて

公明党

芦田 満春

問 次世代型自治体経営におけるデジタル施策の方向性およびそれらを踏まえた公共施設使用料のオンライン決済化の推進について、市の見解を伺う。

答 本市ではデジタル化を喫緊の課題と捉え、現在さまざま

な申請・相談のオンライン化導入を行っている。今後一般的な手続き等では、来なくても良い市役所の実現等5年・10年先を見据えた自治体DXに取り組んでいく。公共施設使用料のオンライン決済化については、手続きを自宅等で完結でき、市民サービス向上や市の事務効率化につながることから、関係部局が協力し42の施設、約300の貸し出しスペースで、オンライン決済化を進めていきたい。

子ども達の登下校の安全対策について

公明党

松尾 尚

問 市内全小学校で1年生以外の児童も黄色い帽子を着用することは、さらなる交通安全対策の強化につながると考えるが、市教育委員会の見解を伺う。

答 黄色い帽子を着用することとはドライバーや地域住民への

注意喚起とともに、子ども自身の交通安全への意識向上にもつながり、事故を未然に防ぐためにも大変有効である。千葉県警察本部の交通事故統計資料によると、登下校時の事故発生件数は、小学1・2年生の占める割合が最も多いと報告されている。黄色い帽子の着用は交通安全対策の効果的な手段の一つとして、まずは小学2年生に継続して着用いたさせるよう推奨していく。



大規模災害を想定した訓練について

政策実現フォーラム・市民DELLI

問 遺体収容所等の開設訓練の実施における進捗を伺う。

答 初めに遺体収容所のレイアウトについては、松戸市遺体収容所運営マニュアルに含め、松戸警察署等の関係機関に助言を頂きながら、災害で家族等と

連絡が取れない被災者の方々の不安な心情に配慮し作成している。また遺体収容所の開設訓練については、遺体収容所運営マニュアルの実効性を確認するため、松戸市地域防災計画において開設場所に指定している北山会館にて令和7年1月20日に、松戸警察署・松戸東警察署と合同で実施する予定である。訓練結果をもとに必要な人員や必要物品、レイアウト等を決定しマニュアルの完成を目指していく。

小規模校の今後について

政策実現フォーラム・市民DELLI

増田 薫

問 イエナプラン教育のように少人数・多学年で、子ども主体の学びが実現できる学校づくりを検討できないか見解を伺う。

答 本市教育委員会では、学びの松戸モデルに基づき教育施策を進めており、教科横断的な

「総合的な学習の時間」では課題を自分ごとと捉え、主体的に学びに向かう力を育成すべく、各学校が取り組んでいる。また市立小学校では異学年集団での縦割り活動が盛んに行われ、小規模校同士が連携し校外学習の実施等多様な学びを展開している。今後も小規模校を含む教育の多様性への対応等教育の質や学校の魅力を高める取り組みを進めるため、先進事例を含め国や千葉県の動向を注視していく。

音楽のまち松戸を推進することについて

公明党

飯箸 公明

問 ①小中高生の音楽活動充実のため森のホール21会場費減免拡充は②市民会館等ホールで、音色や音響向上のため移動式音響反射板を設置できないか伺う。

答 ①森のホール21大ホールは学校利用の場合、3割の減免

措置に加え指定管理者の松戸市文化振興財団で、市補助金を活用した市立学校等を支援する取り組みを行っている。最終的に学校は3割負担で利用できる。今後も多くの学校に利用いたさせるよう研究を重ねていく②音響反射板は以前設置されていたが、老朽化対策の一環で撤去した。しかし吹奏楽などで現在も多くの学校等が施設を利用して、そのため、費用対効果の検証、導入事例も参考に研究していく。

放課後児童クラブの支援員について

立憲民主党

二階堂 剛

問 放課後児童クラブの支援員確保が厳しい状況だと聞くが、職員確保の観点から現状の勤務形態について市の見解を伺う。

答 放課後児童クラブ支援員の人材不足は、全国的な課題であり、本市でも人材確保に苦慮

していると聞く。放課後児童クラブの利用を希望する全ての児童の受け入れを行うために、職員確保を喫緊の課題と捉え、処遇改善の取り組みが重要だと考えている。また雇用の安定化は、児童の安全で安心な育成につながるため、常勤職員の配置も含め委託内容の検討を行う必要性を認識している。一方で非常勤職員を希望する職員もいるため、雇用の選択肢を増やす方策を運営事業者と協議し検討していく。

公立小中学校における障害児への対応について

市民クラブ

大和山 太郎

問 人の顔を認識したり表情を読み取ったりできない等の相貌失認の認識と対応を伺う。

答 市立小中学校では保護者会や学校だより等を通じ、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対する合理的配慮の提供を保

護者に周知している。相貌失認に関して本人や保護者の申し出があった際には、本人に寄り添った支援内容を検討し、合意形成を図り、合理的配慮の提供を行う。合意形成した内容は個別の教育支援計画に記載し、進級進学の際も引き継ぎ資料として活用している。市教育委員会としては一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮が適切に提供されるよう、引き続き研修会等にも力を入れていく。

市民の安全、安心に向けて

政策実現フォーラム・市民

工藤 鈴子

問 消防局による市内小中学校への査察の指摘事項に対する市教育委員会の対応と改善状況は、また改善できていない課題があれば、その理由を伺う。

答 消防局の検査では、設備の未設置等の指摘はないが、施

設の老朽化により、設備の不備を指摘されている。指摘については、機器の交換等速やかに対応可能なものは順次対応しているが、大規模工事になるものは、予算措置し入札等を経て対応を進めている。なお改修工事中の屋内消火栓設備については、改善までの期間は、消防局の指導のもと消火器設置などの対応をしている。今後も児童生徒および学校関係者の安全を第一に、施設の維持管理に努めていく。

松戸市安全で快適なまちづくり条例について

公明党

高橋 伸之

問 千葉県習志野市ではハトへの餌付けを禁止する条例案が市議会に提出されたが、本市でも駅前等公共の場での、ハトの餌付けを迷惑行為として条例に追加する考えはないか伺う。

答 習志野市において、条例

案が令和6年12月定例会に提出されたことは認識している。習志野市におけるハトへの餌やりに対する苦情・相談はJR津田沼駅前のみで、6年度は10月末現在で17件、本市は市内全域で9件と習志野市より少ないが、その都度現場に赴き対応している。本市条例の迷惑行為にハト等への餌やり行為を追加することについては、近隣市の状況を注視しながら、調査研究していく。



新京成電鉄株式会社について

立憲民主党

戸張 友子

問 市の歴史と共に78年の長きにわたり地域交通を支えてくれた新京成電鉄が、令和7年4月1日から京成電鉄の松戸線として営業する。新京成電鉄に感謝の気持ちを伝える取り組みを行う考えはないか、見解を伺う。

答 新京成電鉄は市民の移動の足として78年にわたり、市政の発展と共に歩んできた。市民からはピンク色の車体がなくなると声も頂いている。現在マイメモリーズトレインと題し、車内広告に昔の写真を掲載する等、特別列車を運行している。セレモニー等は現時点で考えていないと聞くが、市としては感謝を伝える方法を、新京成電鉄へ相談し進める考えである。

子どもに関する施策について

日本共産党

嶋村 新一

問 こどもまんなか社会の実現に向け、先進自治体では子ども基本条例を制定する自治体も増えているが、子どもの権利に関する条例の策定について、本市の現段階での見解を伺う。

答 国の調査で子どもの権利

条約の認知度が低い状況を鑑みると、子どもの権利について地域の理解促進が肝要だと認識している。特に認知度が低い子どもについては、自分の権利を学ぶ機会を充実させることが喫緊の課題である。本市では、第3期子ども総合計画の別冊として、こども版の制作も予定している。こうした取り組みから子どもの人権や権利の尊重をより一層徹底し、子どもを真ん中に据えたまちづくりを推進していきたい。

ごみ焼却施設について

市民クラブ

石井 勇

問 和名ヶ谷クリーンセンターは平成7年に稼働してから29年経過しているが、最近の故障の状況や不具合の発生状況、全体の維持管理費について伺う。

答 令和3年度はボイラー水管壁耐火物等修繕他5件、総額

約5億6100万円、4年度はごみクレーン自動運転システム修繕他4件、総額約6億500万円、5年度はコンベヤー等修繕他4件、総額約6億1700万円となっている。整備の実施には相当な費用がかかるため、限られた財源の中で実施していることから、優先度を勘案しながら行い、当施設が故障等により長期間稼働停止し、本市のごみ処理に影響を与えることがないよう整備を行っている。

特殊詐欺対策について

市民クラブ

大塚 健児

問 本市と他機関との連携および対策について伺う。

答 所轄警察から事件の情報等の提供を受ける他、周知・啓発チラシ等を配布してもらう等連携を進めており、防犯協会では地域への注意喚起を行ってい

る。さらに町会・自治会の回覧板や民生委員・児童委員の会議等で、電話de詐欺撃退機器等の周知・啓発の他、認知症推進員研修会等での、高齢者への働きかけ等に協力を得ている。金融機関については、防犯イベントを通じ市民に注意喚起を行う等連携した対応を進めている。今後も特殊詐欺撲滅に向け、警察をはじめ防犯協会や地域および市が一体となりさらなる防止策に取り組んでいきたい。

随意契約ガイドラインについて

立憲民主党

関根 ジロー

問 随意契約ガイドラインや随意契約理由等を公開している自治体が広がっている。本市においても、それぞれの公表を進めるべきと考えるが見解を伺う。

答 随意契約ガイドラインに

ついては、職員に対するマニュアルという位置付けであることから、公表を控えていた。随意契約の公表については、契約課で執行する工事および工事関連業務委託について公表し、事業担当課で執行している随意契約の公表については、担当課の判断としていた。しかしながら自治体によっては、これらの公表を行っている事例も見受けられることから、今後の本市の課題として、調査研究していく。

ゼロカーボンの実現に向けた 現実的な取組について

政策実現フォーラム・市民
原 裕二

問 松戸市地球温暖化対策実行計画の事務事業編における温室効果ガス排出量の削減目標について、2030年度までの目標達成状況を伺う。

答 目標達成状況は、計画基準年度の13年度から最新集計値

22年度までに、6000トンのCO2を削減しており、30年度までさらに5714トン削減が必要となる。23年度以降は、和名ヶ谷クリーンセンターで発電した電気の市本庁舎等への送電で1972トン、PPAによる市内小学校等太陽光発電設備導入で273トン、一部市施設のカーボンオフセット都市ガス導入で768トンの削減を見込んでいる。これらの実施で残り削減量は2701トンとなる。

高齢者支援について

日本共産党

山口 正子

問 65歳以上の運転免許返納者および75歳以上の高齢者へのタクシー料金補助を行う考えはあるか伺う。

答 タクシー料金補助については、他市で行われている同様の事業についても、年齢・所得

要件等対象がさまざまであると認識している。仮に65歳以上の運転免許返納者および75歳以上の高齢者を対象とした場合、今後も高齢者が増加していく中で、財源の確保や需給バランスを考慮すると、現状では慎重な検討が必要になると考えている。引き続き地域の状況、外出の目的等に応じて、庁内外の関係者と連携し、多面的な移動支援の検討を進め充実を図っていききたい。



議決を経ない契約の有効性 について

日本共産党

宇津野 史行

問 令和6年9月定例会で、議会での議決を欠いた契約の締結に対する追認議案が議論されたが、本契約について追認議案の議決までは「違法であった」という認識はあるか伺う。

答 法令解釈の認識違いによ

り、地方自治法第96条第1項および松戸市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に違反していたという点において違法な状態であったと認識している。執行部としては、9月定例会終了後、全庁に向けて適正な契約事務の執行について注意喚起をしたところであり、今後このような事態を二度と招かないよう、気を引き締めて取り組んでまいりたい。

シェアサイクルについて

市民クラブ

渋谷 剛士

問 シェアサイクル利用者の意見等は把握しているか。また事業者との連携について伺う。

答 シェアサイクル事業に関する市民からの声は「シェアサイクルを利用したが、とても便利だった」等、導入されたこと

を喜ぶ声と併せて、シェアサイクルステーションの新たな設置場所の要望や、既存ステーションの自転車ラック数の増設を願う声を多く頂いた。一方では不適切な利用への心配の声もあった。これらの意見・要望はシェアサイクル事業者と常に共有しており、必要に応じて速やかに対応できる体制を構築している。今後も利用者の声を反映させながら、シェアサイクル事業の質の向上に努めたい。

ユースクリニックについて

市民クラブ

中村 典子

問 京都市伏見区のユースクリニックは青少年活動センター内にあり、若者が精神面の悩みを相談しやすい環境である。本市でも若者に寄り添ったユースクリニック導入の考えはないか。

答 京都ユースクリニックで

は若年者の悩みに対し保健師等が相談に応じており、中高生が集まりやすく相談しやすい環境が整備されていると認識している。本市でも子どもたちの相談支援を行っており、青少年プラザ等では会話から悩みを拾い、適切な相談先につないでいる。今後も現在の取り組みを充実させ、京都ユースクリニックの事例等を参考に悩みを相談できる体制について調査を進めていく。



子どもの学校給食について

無所属

鳴原 舞

問 使用できる食塩に、天日製法や平釜製法で作られたものがあるか。また1食に使用される平均グラム数と単価を伺う。

答 学校給食では、天日や平釜で作られた塩は使用していない。また1食に使用する食塩の

平均量は、発注量をもとに算出すると約0.5グラム、単価は約0.05円となる。市では多種多様な食材から、価格や品質、嗜好等を考慮し、安全・安心で美味しい給食実施のため、各校の栄養士が工夫し献立を作成している。そのため天日や平釜で作られた食塩を使用した場合に見込まれるミネラル量は、他の食材でも満たすことが十分可能と認識している。



松戸駅周辺のまちづくり について

まつどみらい

大橋 博

問 松戸駅周辺のまちづくりに関する課題は。また課題がある場合、解決に向けた取り組みと今後の見通しについて伺う。

答 課題として特に駅東口は、交通処理、駐車場整備等である

ちづくり基本構想で掲げるまちづくり方針を具体化するため、都市再整備の方針の他、官民連携のまちづくりを推進・誘導し、賑わいの再生を目的とする、松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定に着手している。これら事業により、さらに利便性の高い公共空間の整備を行い、魅力的で持続可能なまちづくりを推進し、松戸駅周辺を優しさをもって再生し、他市にも負けない魅力ある都市空間を実現したい。

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。

市内在住の障害者手帳（視覚障害）をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047（383）7111



人事案件

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。（敬称略）

●人権擁護委員候補者

山 口 勤
横 田 周 子

議会選出監査委員

議会選出監査委員に欠員が生じたことに伴い、後任者を選任するための議案が提出され、選任に同意しました。

●監査委員

松 尾 尚

特定所管事務調査の
委員長報告

政策立案や監視機能という議会本来の責任を発揮するために、各常任委員会では、閉会中における所管事務の特定調査事項としてテーマを設け、調査・研究を行っています。
今定例会では、その結果を各常任委員会の委員長から報告しましたので、内容（要点）をお知らせします。なお意見集約された総務財務常任委員会、健康福祉常任委員会、教育環境常任委員会の案件については議長から市長へ政策提言として提出しました。

総務財務常任委員会

公用車のあり方について

本常任委員会では、特定調査事項を「公用車のあり方について」と決定し、調査研究を進めてきた。

各先進市への行政視察や執行部からの説明を通して、公用車への環境面や財政面の観点からの取り組みや災害時の車両確保等を学んだ。特に稼働率の把握は適正台数や車種選定につながるため、必要性を強く感じた。

ムを利用し管理しているが、運行日誌やアルコルチェックの記録は紙運用である。これらを踏まえ、公用車の管理や運用を一貫してデジタル化することが稼働率可視化、保有台数適正化、業務効率化につながり、同時に管理コスト削減や安全面の向上を図る一助になる、との意見集約に至った。

よって公用車の管理や運用に関する機能を一元化した公用車管理システムを導入し、保有台数適正化および業務効率化を図ることを政策提言する。併せて公有財産の有効活用や災害時の広域連携という視点を持つた上で、保有形態の在り方も検討するよう申し添える。

教育環境常任委員会

部活動の地域移行について

本常任委員会では、特定調査事項を「部活動の地域移行について」と決定し、調査研究を進めてきた。

研究を深めるため先進市への行政視察を通し、地域により状況が異なるため、それらをまとめ方向性を決める協議会の必要性や状況把握の重要性を確認できた。また生徒の希望を取りこぼさない子どもファーストで進めていることもわかった。本事業は子ども活動場所やスポーツ・文化種目等選択肢を増やし、将来の可能性を広げることが根幹に

あると委員間で共有し、次のとおり政策提言に至った。まずは地域移行のスケジュール策定を行うため「協議会」の設置を求める。そのためには行政が事務局としてリーダーシップを発揮すること。また多角的な視点でアンケート調査を実施し、生徒の希望や問題等を把握すること。これにより協議会の人選や形態を決めることができる。考える。本事業は一朝一夕でできるものではなく、中長期的に進めていく必要がある。今後、部活動の指導は地域の方等へ移っていくが、希薄となってきた地域のつながりを取り戻す機会と捉え、事業を進めていただきたい。

健康福祉常任委員会

健康増進 生活習慣病予防について

本常任委員会では、本市において2人に1人が生活習慣病で亡くなる現状を重要課題とし、特定調査事項を決定した。その後各先進市への行政視察や執行部からの説明を通して、調査研究を進めてきた。各先進市の取り組みに共通したのは、

庁内他部局と連携し、地域等に協力を得ながら若い世代にも積極的にアプローチをしている点であった。若い時から健康について考え理解し、取り組む流れの醸成の必要性を強く感じ、健康的な食生活や運動習慣を

定着させ、定期検診等を受診する環境づくりが重要であり、幅広い情報発信が、生活習慣病予防へとつながるという意見集約に至った。このことから、地域・企業・学校等誰もが健康事業に参加でき、健診や検査を気軽に行えるアプリやシステムの導入を政策提言する。また将来的にはAI等も活用したDX化に取り組み、適切な効果検証を行いながら、新たな生活習慣病予防策を進めていただきたい。さらに既存の媒体を有効活用することや、庁内専門職同士の連携強化で事業推進力の強化も想定できることから、部局にとらわれない横のつながりにも期待する。

建設経済常任委員会

空き家等対策について

本常任委員会では「空き家等対策」を特定調査事項のテーマとすることに決定し、各先進市への行政視察や、執行部からの説明を受け各委員間の知識の共有を図りながら調査研究を進めてきた。

このような経過を踏まえ、各委員から意見を募り、以下の内容で政策提言に向けて意見集約を図った。「早期に空き家を市場へ流通させることが重要であり、民間事業者との連携は必須である」「空き家化の予防・発生の抑制は、相続

が発生する前に一人でも多くの所有者等に検討を始めてもらうことが重要であり、情報の周知・啓発を推進しつつ、気軽に相談しやすい環境の構築を求める」「『特定空家等』になることを未然に防ぐ取り組みとして、空家等対策の推進に関する特別措置法改正への対応が重要である」「空き家等除却費用等の補助制度の調査研究および空き家等対策に係る体制強化を求める」以上の内容で政策提言することに大半の委員の意見はまとまっていたものの、これに納得しかねるとの意見があり、提言に至らなかったことを申し添え、本常任委員会の報告とする。

3月定例会の開催予定

令和7年松戸市議会3月定例会は、2月21日（金）から3月25日（火）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願は、2月12日（水）正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月21日（金）	招集日・本会議（施政方針・議案提案理由説明）
25日（火）	各常任委員会（先議議案審査）
28日（金）	本会議（先議議案採決）
3月3日（月）	本会議（一般質問）
4日（火）	本会議（一般質問）
5日（水）	本会議（一般質問・議案質疑）
7日（金）	総務財務常任委員会
10日（月）	健康福祉常任委員会
11日（火）	教育環境常任委員会
12日（水）	建設経済常任委員会
17日（月）	予算審査特別委員会
18日（火）	予算審査特別委員会
19日（水）	予算審査特別委員会
21日（金）	予算審査特別委員会
25日（火）	本会議（議案等の採決）

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047（366）7381

お詫びと訂正

議会だより259号において誤りがありました。
訂正箇所は、1ページ題字の「後藤香織さん（書道部）」とあるのは、「後藤花織さん（書道部）」の誤りです。
訂正してお詫び申し上げます。

編集の窓

第21期松戸市議会も折り返し、常任委員会等は新しい構成となり、また新たに渋谷剛士議長、大塚健児副議長が就任しました。

広報委員会も委員構成が変更され、老若男女問わず、市民の皆さまに分かりやすい紙面の構成づくりに取り組んでおります。

議員相互の意見交換を図り、開かれた議会を目指し、議会の情報公開の一助となるよう、広報委員一同、努力して参ります。

三寒四温の時節柄、何卒体調管理にご留意ください。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

委員長 中村典子※
副委員長 田中睦生※
委員 嶋村新一※
芦田満春※
丹呉顕子※
広瀬優斗※
大和田善昭※
西田友子※
戸張薫※
増田之※
高橋伸之※

※新たな委員長・副委員長、変更があった委員

議会だよりの編集を担当しています
広報委員会

次回発行予定は

5月1日（木）です